

石狩市社会福祉協議会

平成23年度事業報告

平成23年度は、石狩市地域福祉計画りんくるプラン2年目、平成21年度より指定管理を受けた保養センターを含む浜益5施設運営の3年目を迎え、「地域に必要とされる社協活動の推進」の基本方針を基に4つの重点項目を定めスタートいたしました。しかし平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」は、被災地はもとより社会全体に大きな被害・影響を及ぼし、本会運営も予想以上に大きな影響を受けました。

具体的な動きとしては、発生時より継続して日本赤十字社、共同募金会の義援金窓口業務を行いました。年度明けには北海道社会福祉協議会の要請を受け、岩手県宮古市へ職員3名を派遣し、現地災害ボランティアセンターの運営に当たりました。また、現地での活動を希望する市民の思いに応えるため、石狩発災害ボランティアバス「石狩サーモン号」を2回運行し、合計80名のボランティアが岩手県大槌町で活動を行いました。想いはつきず市内外から継続希望の声が寄せられているところであります。

更に、被災地から石狩市へ避難されてきた方への被災者向け緊急小口資金貸付窓口業務を担い、実際に東京電力福島第一原子力発電所事故を起因とする避難者への支援を行いました。

さて各メディアでは、震災被害の大きさを伝える一方、普段何気なく思っている近隣住民同士の繋がりが、いざという時、いかに力になり、心の拠り所になるかが、「絆」という表現で数多く報道され、その大きさが国民等しく再認識されたところでもあります。

反面、「孤立死」等、誰に頼ることもなく餓えや寒さで命を落とすという、現代社会には起こり得ないと思われる事故も数多く報道され、近隣住民の繋がり「絆」が、実際は脆弱で希薄化していることも同時に痛感しました。

幸いにして、石狩市においては震災による直接的な被害もなく、また人に知られることなく飢えを原因で命を亡くされた方がいたとは耳にしていません。地区社会福祉協議会や自治会、民生委員・児童委員、ボランティア等々「安心・安全・福祉のまちづくり」を願う様々な組織、個人がそれぞれ、人と人との結びつきを深める地域福祉活動を進めており、地域力の強化に努めております。この様な背景ですが、地域福祉の基本となる地域の結びつきは一朝一夕に出来るものではありません。日々意識を持ち活動を重ねることで繋がりが保持されていくと認識し、積極的に地域に出向き、繋がりを深める仕組み・方法を、地域の方と共に考えました。その結果「絆」の重要性が報道されていることが追い風となり、新たな地区社協が2地区組織され、さらに身近な集いである、ふれあいサロン事業の立ち上げにも関わることが出来ました。

介護保険事業所については、法令順守を基本に、介護保険の理念である「要介護者が尊厳を持って、自立した生活を営める」ようにサービス提供に努めました。同時に平成24年4月からの制度改正に向けた準備を取り進めました。市内3カ所の通所介護事業は、前年度と比較し概ね前年以上の利用となりましたが、課題とされていた、南デイサービスセンター内に

ある「認知症対応通所介護」の利用者減少傾向が解消されず、同一建物内で単価の違う2単位のサービスを展開している難しさが表れた結果になりました。

3年目となる「石狩市浜益保養センター（浜益温泉）」では、昨年に引き続き、「おもてなしの心、ホスピタリティ」を全従業員に徹底させ、地域の方はもとより遠路わざわざお越しいただいた来館者に、再度足を向けてもらえる様なサービス提供に努めたところであります。

また、軽食コーナーでは新たなメニューに加わった「鮭醤油らーめん」が好評でしたが、冬期間、国道231号線が10回以上通行止めになる程、悪天候の影響を受け収支に影響を及ぼしました。

法人の運営全般においては、執行機関である理事会を構成する理事の皆さんがより本会運営に具体的に参加できるよう、法人運営、地域福祉、介護保険事業に分かれ、検討会議を開催し、各理事による熱心な協議の実現と平成24年度からの専門部会設置の端緒となったところであります。

決算状況については、資金の流れを表わす『資金収支決算』、事業の収支上成績を『事業活動収支決算』、決算期における資産状況を示す『貸借対照表』の3表にての報告になりますが、例年になく厳しい結果となりました。このことは財源の確保はもちろん、経費節減や合理的な物品調達等財源の効果的活用にも努めたところでありますが、予想されていなかった燃料費の高騰、大規模修繕の複数発生、さらに冬期間悪天候による国道閉鎖を原因とした保養センター来館者の減等不測の事態を原因とするものであります。

以上、りんくるプラン2年目にあたり、基本理念である地域力の向上を絶えず意識し、それぞれの部門にて計画どおりの事業が実施されたと総括し、以下部門ごとの事業、別議案として決算状況について報告いたします。

個別事業報告

1. 法人運営事業

1-1 理事会・評議員会の運営強化

会務の方向性を協議、決定する理事会並びに評議員会を適時実施しました。また、定例監査及び外部監査を実施し、法人運営の適正化を図りました。

また、役職員による専門部会設置に向けた取り組みとして、平成 24 年度事業計画の策定に向け、事業計画検討会議を開催しました。

[理事会・評議員会等開催回数]

会議等名称	開催回数
理事会	5回
評議員会	3回
定例監査	4回
外部監査(委託税理士)	13回
事業計画検討会議	3回

1-2 社協会費と寄付金の理解に向けた取り組みの実施

地域福祉事業を展開するうえでの貴重な自主財源となる社協会費並びに寄付金の理解、協力を社協広報誌等による呼びかけを実施しました。

また、町内会へお願いしている一般会費については、日赤社資のお願いとあわせ、各町内会長宅へ個別で訪問し理解と協力を求めました。

[社協会費・寄付金件数]

種別	平成 23 年度	平成 22 年度	前年比
一般会員	18,469 世帯	17,176 世帯	107.5%
法人会員	104 社	100 社	104.0%
特別会員	235 名	278 名	84.5%
施設会員	21 施設	20 施設	105.0%
寄付	127 件	98 件	129.6%

1-3 社協組織と事務局体制の充実

平成 22 年度に実施した事務局一課制を再度二課制とし、事務局職員の横の連携を意識した事務局体制により業務を進めました。

また、職員個々の資質の向上をはかるため、積極的な研修会等への参加を実施しました。

[役職員研修等参加状況]

研修等名称	回数	対象	人数
社協役員専門研修 B	1回	役員	7名
社協会長事務局長会議	4回	役職員	延7名
石狩管内社協職員連絡協議会	3回	職員	延5名
社協管理職員研修	1回	職員	1名

研 修 等 名 称	回 数	対 象	人 数
社協職員新任研修	1回	職 員	1名
生活福祉資金貸付事業研修	2回	職 員	延2名
石狩地区ボランティアネットワーク会議	1回	職 員	1名
ボランティアコーディネーター養成研修	1回	職 員	1名
市町村ボランティアセンター運営協議会	1回	職 員	1名
石狩地区ボラネットスキルアップ研修	1回	職 員	1名
地域の支え合いネットワークセミナー	1回	職 員	1名
地域の我が家サロンセミナー	1回	職 員	1名
石狩地区安心・安全・福祉のまちづくりセミナー	1回	職 員	1名

1-4 東日本大震災への支援

東日本大震災から市民による支援の輪が広がり、本会も被災地支援に取り組みました。

(1) 被災地ボランティアセンターへの職員派遣

北海道社会福祉協議会からの要請に応じ、岩手県宮古市社会福祉協議会でのボランティア調整業務等を行う要員として本会職員3名を延21日間派遣しました。

(2) 災害ボランティアバス「石狩サーモン号」の企画実施

被災地でのボランティア活動を希望する市民の声に応え、(株)日本旅行北海道とタイアップし災害復興支援ボランティアバス(ツアー)を2回企画実施しました。また、この活動については、中央共同募金会のボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ・活動支援金)の助成事業を申請し、採用されました。

石狩サーモン号 9月9日～12日 第2弾 11月11日～14日

- ・ 参加人数 各40名(募集定員と同数)
- ・ 活 動 地 いずれも岩手県大槌町
- ・ 活動内容 大槌町社協復興支援ボランティアセンターの指定した活動(河川のがれき撤去等)

(3) 被災地支援活動事前ガイダンスの開催

石狩サーモン号に参加するボランティアを対象に事前ガイダンスを開催し、被災地での活動における留意点等を説明しました。

(4) 報告会等の開催

被災地の状況や活動内容などの説明等を行いました。

- ・ 東日本大震災ボランティア活動報告会 10月26日(水)りんくる
- ・ 災害支援活動報告会 6月9日(木) 市民図書館
- ・ 防災とボランティア週間パネル展への出展協力 1月15日～21日 札幌市民防災センター

(5) 忘れない3. 11参画

商工会議所青年部が中心となり、東日本大震災から1年となる日に市民が集い、慰霊と復興を願うイベントに参画し、義援金・支援金募金の呼びかけなどを実施しました。

- ・ 開催日 平成24年3月11日(日)
- ・ 場 所 市役所ロビー

2. 企画広報事業

2-1 社協広報「ふれあい」の発行（共同募金助成事業）

年4回市内全戸に社協広報「ふれあい」の配布を実施し、社協活動の情報開示と地域福祉活動への市民参加の必要性の啓発に努めました。

2-2 ホームページの充実

インターネットの効果的な情報発信に努めるため、ツイッターやブログ等新たな手段を導入し、ホームページとのリンクを貼ることでの相乗的な効果を図りました。

2-3 福祉情報の発信

社協広報「ふれあい」に民生委員活動等身近な福祉情報を掲載し、福祉に係る情報の発信に努めました。

3. 福祉活動推進事業

3-1 救急医療情報の活用支援

平成22年度に市内全世帯に配布した救急医療情報キットについて、新たに石狩市へ転入された方等に追加配布を行いました。

また、事業の周知並びに適切な使用方法をお知らせする手段として、救急医療情報キット活用パンフレットを作成し、市役所、りんくる並びにコミュニティセンター等市内要所へ配備を実施しました。

- ・ 救急医療情報キット活用件数 11件
- ・ 救急医療情報キット追加配布数 82セット
- ・ 救急医療情報キット活用パンフレット作成数 1,000部

3-2 ふれあいサロン設立支援

孤独感を解消し、住みなれた地域で安心して暮らせるよう「石狩市ふれあいサロン事業」を広めるため、各サロンに延9名の職員が伺う等、サロン設立の支援を行いました。

[ふれあいサロン設立・支援状況]

サロ ン 名 称	設 置 地 区 等	設 立
ふれあいサロン親船東	親 船 東 町 内 会	平成22年度
ふれあいサロンすずかけ	す ず か け 町 内 会	平成23年度
ほほえみカフェ	UR花川中央団地	平成23年度

3-3 ふれあい給食サービス（共同募金助成事業）

孤立しやすい方々と地域の結びつきを深め、更に町内会、民生委員、ボランティア等地域での地域福祉関係者の連携を深めることを目的としてふれあい給食サービスを実施いたしました。

[ふれあい給食サービス実施状況]

地区等名称	内容	実施回数		参加延人数		ボランティア延人数	
		H23年度	H22年度	H23年度	H22年度	H23年度	H22年度
花川南第一地区社協	配食	24	24	218	164	51	50
花川南第二地区福祉の会	配食・会食	24	24	304	291	82	82
花川南第三地域社協	配食・会食	24	24	709	686	320	315
花川南第五地区社協	配食	24	24	422	305	208	207
花川南第六町内会	配食	12	11	37	33	14	11
花川南町内会	配食・会食	22	22	443	413	140	197
花川南睦美町内会	配食・会食	24	24	633	658	66	86
ニューあかしや地域社協	配食	24	24	256	210	27	30
花川南栄地区社協	配食・会食	24	24	412	412	55	53
白樺福祉会	配食・会食	20	21	395	412	124	114
紅葉山地区社協	配食	24	24	258	312	192	192
緑苑町内会	配食	24	24	138	122	60	44
北陽町内会（新規）	配食	13		244		26	
北六条町内会（新規）	配食・会食	7		242		22	
合計		290	270	4,711	4,018	1,387	1,381

※地区等名称は一部略名としています。

3-4 世代間交流事業

地区社協等で実施する「ふれあい給食サービス事業」並びに「ふれあいサロン事業」と連動し、各事業において世代間交流の促進に努めました。

3-5 ふれあいベンチの設置（共同募金助成事業）

地域における住民のふれあいの場の提供を目的に、平成23年度は3箇所、5脚のふれあいベンチの設置を行いました。事業実施の平成22年度から継続し、これまで計7箇所、10脚のふれあいベンチが設置されました。

[ふれあいベンチ設置状況]

平成23年度		平成22年度	
設置場所	設置数	設置場所	設置数
親船会館前(親船)	1脚	白樺会館前(花川北)	2脚
花畔河川敷公園(花畔)	2脚	鎌田本店前(花川南)	1脚
花川南第一会館前(花川南)	2脚	花川整形外科前(花川南)	1脚
		旧ガソリンスタンド前(厚田)	1脚

3-6 地域福祉コーディネーター養成研修（共同募金助成事業）

地域福祉の推進においては、幅広い視野から課題を捉え、総合的に解決していきける、地域福祉コーディネーター（調整役）を養成し「安心して生活できる地域力を高める」ことを目標として、研修会を開催いたしました。

- ・ 開催日 平成24年2月1日（水）
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター3階 301・302 会議室
- ・ 参加者数 29名
- ・ 内 容 講義・演習「要援護高齢者の発見、声かけ、連絡調整ほか」
講師 北星学園大学社会福祉学部福祉計画学科 准教授 岡田 直人 氏

3-7 石狩市生活・介護サポーター養成研修の共催

北海道石狩振興局及び石狩市で実施した「石狩市生活・介護サポーター養成研修」に共催し、石狩市地域福祉りんくるプランに位置付けられている地域福祉サポーター（協力員）の養成事業に向けた取り組みに努めました。

- ・ 開催日 平成24年2月2日（木）、9日（木）、23日（木）
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター2階 交流活動室
- ・ 参加者数 21名（民生委員、ボランティア登録者、ふれあいサロン運営者、高齢者クラブ等）

3-8 地区社協活動の推進

地区社協活動支援を目的に、各地区社協に対し運営費・事業費の助成を実施しました。

また、情報共有を目的とした連絡会議及び地域づくりについて、研修会を開催し地域づくりの実践について理解を深め、地区社協活動の活性化を図るとともに、未組織化地区単位町内会福祉部の活動を助成し組織化への働きかけに努めました。

(1) 地域福祉活動支援・小地域福祉助成事業（共同募金助成事業）

- ・ 地区社協が行う事業への助成 16地区社協×70,000円（うち、20,000円は運営費）
- ・ 単位町内会が行う事業への助成 7単位町内会×20,000円

(2) 地区社協研修会の開催

- ・ 開催日 平成24年3月22日（木）
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター2階 交流活動室
- ・ 参加者数 45名
- ・ 内 容 実践報告 ① 白樺福祉会会長 松永 暘一 氏
「児童（小学生）に対する地区社協の取り組み」
② 花川南第一町内会区内社会福祉協議会会長 荒澤 宏 氏
「南第一町内会区内社協の地域福祉活動展開」

(3) 地区社協連絡会議の開催

- ・ 開催日 平成24年3月22日（木）
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター2階 交流活動室
- ・ 参加者数 37名
- ・ 内 容 地区社協活動についての情報交換等

(4) その他の地区社協活動支援

- ・ わかば地区社会福祉協議会の新規設立（緑苑、若葉、北陽、すずかけ、北六条、緑町内会）
※ 設立に係る会長会議への出席 3回・役員打合せへの出席 8回
- ・ 花川南第四町内会地区社会福祉協議会の新規設立（花川南第四町内会）
※ 設立に係る役員打合せへの出席 4回
- ・ 地区社協事業への訪問 12回

3-9 石狩市地域福祉活動事例集の発行

今後の地区社協活動や新たな地域福祉活動に必要な情報源として、石狩市内地区社協活動等を掲載した「石狩市地域福祉活動事例集」を800部作成しました。

3-10 石狩市民生委員児童委員連合協議会との協働

民生委員・児童委員と社会福祉協議会は、共に地域福祉の推進に取り組む両輪の関係となり、連携を図りながら協働による地域福祉活動の推進に努めました。

3-11 ふれあい広場いしかりの開催

障がい者の社会参加、インクルージョンの普及、啓発を目的として「やさしさの風になろうよ」をテーマとして、市内関係者・団体により実行委員会を組織し2011ふれあい広場いしかりを開催いたしました。

- ・ 開催日 平成23年7月17日（日）
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター
- ・ 参加者数 約3,300名（平成22年度3,100名）
- ・ その他 実行委員会開催回数 3回（各小委員会開催回数 延18回）

3-12 石狩市社会福祉大会の開催

地域福祉関係者、市民等が一堂に会し、お互いが地域福祉に対する共通理解を得ることを目的として、石狩市社会福祉大会を開催しました。

また、これまで社協活動に貢献された方への表彰及び多額の寄付を下された方への感謝状の贈呈を行いました。

- ・ 開催日 平成23年11月7日（金）
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター2階 交流活動室
- ・ 参加者数 210名（平成22年度250名）
- ・ 内 容 講演「デンマークに学ぶ幸せな国づくり」
講師 バンク・ミケルセン記念財団 理事長 千葉 忠雄 氏
- ・ 表彰式 表彰 5名・感謝状 24名（団体含む）
- ・ その他 同時に、1階ロビーにて、石狩市障がい者関係団体連絡会議加入団体によるパネル展示と出店を実施しました。

3-13 石狩市障がい者関係団体連絡会議・障がい者週間記念事業の開催協力

石狩市内で活動する障がい者団体、関係団体により、情報交換や連携を図ることを目的とし、市障がい者関係団体連絡会議並びに障がい者週間記念事業の開催に協力しました。

(1) 第1回石狩市障がい者関係団体連絡会議

- ・ 開催日 平成23年10月21日(木)
- ・ 場所 石狩市総合保健福祉センター2階 地域福祉活動室A
- ・ 参加団体 11団体
- ・ 議題 役員の改選について・平成23年度事業計画について ほか

(2) 平成23年度交流もちつき大会(共同募金助成事業)

市内で活動している障がい者、関係者が一堂に会し、お互いの交流を深め、更なる連携を築くことを目的として開催いたしました。また、「障がい者週間」を記念し、障がい者関係団体連絡会議に加入している各団体の作品展も同時に実施いたしました。

- ・ 開催日 平成23年12月9日(金)
※ 作品展開催期間:12月5日(月)~12月9日(金)
- ・ 場所 石狩市総合保健福祉センター1階 ふれあいロビー

3-14 地域福祉協力店舗の設置

「石狩ハイスタンプ会」の協力の下、平成22年度より募金箱の設置を進めていましたが、平成23年度は東日本大震災に係る義援金募金箱の設置希望が多いことを受け、新規の募金箱の設置は見合わせることにしました。

- ・ 地域福祉協力店舗募金箱設置件数 62店舗(継続)
- ・ 現金募金総額 73,874円
- ・ ハイスタンプ募金総額 72,500円(ハイスタンプ34,692枚換金額)

3-15 福祉団体フリーマーケットの参加

平成22年度に引き続き、石狩まるごとフェスタで行われるフリーマーケットに出店しました。販売する商品は職員の有志により、売上16,000円を全額地域福祉の財源としました。

3-16 助け合いマップ(福祉マップ)の作成支援

地区民協が作成する福祉マップ作成費の一部を助成しました。なお、作成されたマップは有効な活用に向けた取り組みを進めています。

4. ボランティア活動事業

4-1 ボランティアセンター運営

ボランティア活動を行いたい人と、ボランティアの手助けがほしい人との橋渡し役という調整を行うとともに、地域でボランティア活動を行っている各グループ等と連携を図りながら、いつでも誰でも参加できるボランティア活動の拠点づくりに努めました。

(1) ボランティアセンターの相談体制

ボランティア登録、相談のために担当職員を配置しました。

(2) ボランティア登録

ボランティア派遣を円滑にするため、ボランティア登録を積極的に行いました。

[ボランティア登録状況]

区 分	登 録 者 数 等		前年比
	H23 年度	H22 年度	
個人登録（重複含）	319 名	263 名	121.3%
団体登録（重複含）ボ連協加入	139 名（11 団体）	140 名（11 団体）	99.3%
団体登録（重複含）ボ連協未加入	400 名（23 団体）	413 名（25 団体）	96.8%
実登録者数（重複除く）	803 名 内男性 206 名 女性 597 名	755 名 内男性 155 名 女性 600 名	106.4%

(3) ボランティア活動保険の加入促進

安心してボランティア活動ができるようボランティア活動保険の加入促進に努めました。

[ボランティア活動保険加入状況]

区 分	登 録 者 数 等		前年比
	H23 年度	H22 年度	
個人及びグループ登録保険加入者	554 名	462 名	120.0%
ボランティア連絡協議会保険加入者	110 名	109 名	100.9%
ボランティア行事保険等活動保険以外加入者	35 件	41 件	85.4%
※上記のうち天災プラン加入者（被災地支援活動）	91 名		

(4) ボランティア相談、調整

ボランティア登録やボランティアを必要としている方等、ボランティアに対する様々な相談を受付、調整を行いました。

(5) ボランティアの交流事業の開催

例年、ボランティア登録者同士の交流や、情報交換の場として開催している交流事業について、平成 23 年度は平成 24 年度から実施するボランティアポイント事業の説明を行いました。

- ・ 開催日 平成 24 年 3 月 13 日（火）
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター 2 階 交流活動室
- ・ 参加者数 23 名

(6) ボランティアのコーディネート

計画されている事業の他、ボランティアに関する各ニーズに対しボランティアのコーディネートを行いました。

[ボランティアコーディネート総数]

調 整 先	調 整 件 数			調 整 延 人 数		
	H23 年度	H22 年度	前年比	H23 年度	H22 年度	前年比
施 設 等	1,615 件	1,447 件	111.6%	2,353 名	2,289 名	102.8%
在 宅	19 件	45 件	42.2%	30 名	82 名	36.6%
合 計	1,634 件	1,492 件	109.5%	2,383 名	2,371 名	100.5%

[ボランティアコーディネーター施設等内訳]

施設等名称	活動内容	回数	人数
愛の家グループホーム石狩花川	特技披露	2	4
石狩希久の園デイサービスセンター	特技披露	25	100
石狩市こども発達支援センター	子供の遊び相手	50	74
	プール療育指導	18	32
	屋外レク	1	5
石狩市身体障害者福祉協会	移動介助・見守り	6	10
石狩市ボランティア連絡協議会	特技披露	1	4
石狩仲よし保育園	介助的見守り又は遊び相手	7	7
えみな	清掃・食器洗い等の手伝い	115	158
オアシス 21	特技披露	26	69
	陶芸教室のサポート	11	39
	伝承遊び	10	21
	移動介助・見守り	5	13
	麻雀	4	4
生振の里	祭りの補助	1	5
ギャラリーヴィン	絵本の読み聞かせ	8	8
グループホーム延齢草	特技披露	13	13
	傾聴活動	26	42
グループホームはなかわ	傾聴活動	4	8
グループホームひなた	特技披露	17	17
	車椅子介助	52	52
	お話し相手	24	34
	移動介助・見守り	3	6
ケアハウスいしかり	手芸活動	4	4
ケアハウスりょくえん	合唱参加	10	10
高齢者クラブ コスモス会	特技披露	1	1
サポートセンターあらいぶ	清掃・食器洗い等の手伝い	27	33
社会福祉協議会	情報紙発送	11	37
	ハイスタンプ貼付作業	1	6
	切手整理作業	5	37
セージュ新ことに	喫茶	100	103
	ゆとりサークルのサポート	44	44
	将棋	54	54
	特技披露	3	13
	伝承遊び	3	12
樽川町内会	特技披露	1	1
樽川デイサービス四季彩館	麻雀	21	21
	特技披露	2	27

施設等名称	活動内容	回数	人数
デイサービスあっとほーむ	サポート	5	5
	特技披露	3	6
デイサービスエルサ	移動介助・見守り	16	16
デイサービスクオレ花川中央	囲碁活動	36	36
	特技披露	11	27
	麻雀	34	34
デイサービスセンター花畔	サポート	8	8
デイサービス我が家 樽川の家	特技披露	11	24
特別養護老人ホームばんなぐろ	ゆとりサークルのサポート	177	218
	車椅子介助	19	19
	特技披露	1	4
	祭りの補助	1	4
柏水連合町内会	特技披露	1	1
花川北老人デイサービスセンター	特技披露	12	23
	手芸活動	44	44
	デイにおける介助全般	195	281
	移動介助・見守り	10	24
花川病院	陶芸教室のサポート	2	8
	特技披露	11	40
	喫茶	9	38
花川南第二町内会	特技披露	1	4
花川南町内会	特技披露	4	5
花川南老人デイサービスセンター	麻雀	47	47
	手芸活動	43	43
	移動介助・見守り	5	20
	特技披露	13	33
はまますあいどまり	特技披露	1	4
ひとみ町内会	特技披露	1	7
ふれあいクリニック	特技披露	11	11
	移動介助・見守り	14	28
	祭りの補助	1	1
	屋外レク	5	14
リフレッシュ・デイサロン温泉堂	収穫祭手伝い	1	2
緑苑町内会	特技披露	1	1
ワークセンターポロレ	清掃・食器洗い等の手伝い	145	145
	合計	1,615	2,353

[ボランティアコーディネート在宅内訳]

施設等名称	活動内容	回数	人数
独居高齢者宅	傾聴	5	8
高齢者世帯宅	傾聴	14	22
	合計	19	30

(7) 預託物品の払出

市民の皆さまから寄せられた物品等を、希望する施設等に払出を行いました。

[預託物品受入・払出状況]

受入物品名	払出先	数量
5月人形	グループホームハートの家六番館	2基
アルミ製スタンダード車いす	石狩市社会福祉協議会	1台
囲碁セット	花川南児童館	1基
ウェットティッシュ	特別養護老人ホーム希久の園	2袋
腕ぬき	ふれあい広場ホール小委員会	4組
書き損じハガキ	石狩市社会福祉協議会	690枚
書き損じハガキ	生振小学校	47枚
紙オムツ	特別養護老人ホーム希久の園	11袋
車椅子	ケアハウスいしかり	1台
車椅子	匿名様	1台
クロロプレーンウェーダー25cm	石狩サーモン号活動後大槌町社協	3個
クロロプレーンウェーダー29cm	石狩サーモン号活動後大槌町社協	1個
使用済み切手	NPO法人 誕生日ありがとう運動	39,200g
消毒液	石狩市社会福祉協議会	8本
消毒液	石狩市社会福祉協議会	4箱
すいか	ふれあい広場ホール小委員会	3箱
雑巾	市内小中高校 23校	1,620枚
ティッシュペーパー	石狩市内保育園 12施設	120個
手提げ袋	花川北デイサービスセンター	15枚
デニムエプロン	ふれあい広場ホール小委員会	4枚
手袋	ふれあい広場ホール小委員会	4組
トマト	ふれあい広場ホール小委員会	2箱
尿とりパッド	特別養護老人ホーム希久の園	9袋
ネオプレーンウェーダー25cm	石狩サーモン号活動後大槌町社協	1個
ネオプレーンウェーダー27cm	石狩サーモン号活動後大槌町社協	1個
ネオプレーンウェーダー28cm	石狩サーモン号活動後大槌町社協	5個
ネオプレーンウェーダー29cm	石狩サーモン号活動後大槌町社協	3個
みかん	ふれあい広場ホール小委員会	1箱
未使用切手	石狩市社会福祉協議会	8,675円
未使用ハガキ	石狩市社会福祉協議会	100枚
メロン	ふれあい広場ホール小委員会	7箱
日用品等	ふれあい広場実行委員会	741点

4-2 ボランティア情報の提供

ボランティア情報の発信を目的に、ボランティアニーズ等を掲載した『愉快的仲間』を月1回発行し、ボランティア活動参加の働きかけを行いました。

4-3 福祉とボランティア入門教室の開催

市内小中学校等との連携のもと、福祉やボランティアをより身近なものとするを目的に、児童や生徒を対象とし、夏休み時期に、楽しみながら参加できる体験活動を中心とした教室を開催しました。

- ・ 開催日 平成23年7月28日(木)
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター・円山動物園
- ・ 内 容 車椅子の操作や介助方法を学び、円山動物園での体験を実施
- ・ 参加者数 8名(男子3名・女子5名)

4-4 ボランティア活動指定校の助成

市内小中学校6校(浜益小学校・浜益中学校・八幡小学校・花川北中学校・樽川中学校・石狩中学校)をボランティア指定校とし、そのボランティア活動事業費を助成する等福祉教育の推進に努めました。

4-5 福祉教育の推進

市内学校からの相談、依頼に応じ、児童生徒の福祉とボランティアに関する福祉教育の推進に努めました。

- ・ 花川小学校4年生：高齢者疑似体験セットの説明指導、ボランティアに関する説明等
- ・ 双葉小学校4年生：高齢者疑似体験セットの説明指導、ボランティアに関する説明等
- ・ 八幡小学校3年生：りんくるのバリアフリーについての見学と説明

4-6 ボランティアスクール

ボランティア活動に係る基本姿勢や基礎知識及びスキル向上を目的に、入門的講習会を実施しました。

また、本事業の受講をきっかけにボランティア登録促進に努めました。

- ・ 開催日 平成24年2月22日(水)
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター3階 視聴覚室
- ・ 内 容 喫茶ボランティアに焦点をあてた美味しいコーヒーの入れ方の講習会
ボランティア連絡協議会の活動紹介
- ・ 参加者数 26名
- ・ その他 2名の新規登録者有り(ボランティア連絡協議会加盟団体へ登録)

4-7 シニアボランティア講習会（共同募金助成事業）

長い社会生活で培った豊富な経験や知識をもとに、生涯現役で地域活動に参加し、また、自身ができるボランティアについて考えることを目指し開催しました。

- ・ 開催日 平成24年2月6日（月）
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター3階 視聴覚室
- ・ 内 容 講演「ボランティアを始めるにもアンチエイジング」
講師 北のくらしと地域ケア研究所 代表 鈴木 英樹 氏
石狩市ボランティアセンター概要説明
- ・ 参加者数 23名

4-8 介護員二級課程養成研修事業（ホームヘルパー二級講習会）

介護員二級の資格取得をとおし、地域の人材育成を目的に開催。また受講者にはボランティアについての説明をし、センターの啓発を行いボランティア登録拡大に努めました。

- ・ 日 程 平成23年5月25日～8月25日
- ・ 受講者数 16名
- ・ 修了者数 15名

4-9 災害ボランティアコーディネーター関連事業

東日本大震災の被災地の状況を多くの方に知っていただき、実態を身近に感じることをコンセプトに、東日本大震災ボランティア活動報告会と合せた講習会を実施しました。

- ・ 開催日 平成23年10月26日（水）
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター3階 視聴覚室
- ・ 内 容 講演「災害時におけるボランティア活動」
講師 藤女子大学人間生活学部 准教授 船木 幸弘 氏
- ・ 参加者数 20名

4-10 ボランティアグループの育成

各福祉事業で活躍するボランティア活動の継続を目的に、ボランティアグループへの参加の呼びかけや新たなグループの立ち上げの支援に努めました。

また、ボランティア連絡協議会に対し助成や全道のボランティア実践者が一堂に会するボランティア愛ランドへ参加しました。

ボランティア愛ランド

- ・ 開催日 平成23年10月15日～10月16日
- ・ 場 所 北海道士別市
- ・ 内 容 テーマ別分科会及び全体会への参加
- ・ 参加者数 23名

4-11 声のお便り

市内在住の視覚障がい者に対し石狩市広報等を朗読したカセットテープの無償貸出を実施しました。

また、録音作業を行う石狩朗読ボランティアの会に対し送付作業と運営助成を行いました。

4-12 ボランティア指定校事例集の発行

市内の小中学校で実際に取り組まれているボランティア活動の実践例を紹介し、各校における福祉教育や総合学習に活用できるツールとしての活動集を作成しました。

4-13 高齢者疑似体験教室の開催

多くの市民で賑わった「石狩まるごとフェスタ」において、ブース出展し高齢者疑似体験セットを使用した体験教室を実施しました。

4-14 ボランティア育成計画の策定

ボランティア活動先並びにボランティア登録者の拡充を図るための計画策定に向け内部協議を進めるとともに、平成24年度から実施するボランティアポイント事業をすすめるための準備、周知活動を実施しました。

5. 調査研究事業

5-1 石狩市地域福祉りんくるプランの評価及び進捗状況の確認

課内ミーティングの実施や石狩市担当職員との打合せを行う等、石狩市地域福祉りんくるプランの進捗状況の確認に努めました。

5-2 地域事業メニューの情報収集・研修

ふれあいサロン及びふれあい給食サービス（会食会）等において実施できる頭脳スポーツやレクリエーション用具（ゲーム&パズル日本地図・漢字カルタ等）を購入し、無料の貸出を実施しました。

また、地域福祉に係る会議や研修会への参加に努めました。

- ・ 地域福祉関連会議及び研修会 計7回参加（再掲）
- ・ ボランティア関連会議及び研修会 計6回参加（再掲）

5-3 効果的な情報発信手段の調査

社協事業や地域で行われた事業への参加時にその状況等タイムリーな情報発信をツイッターにより行いました。

また、ホームページ以外のインターネットによる情報発信源として、ブログやフェイスブック等、社会的に注目されている情報発信手段の導入に努めました。（再掲）

6. 心配ごと相談事業

6-1 住民よろず相談所の設置

毎週木曜日、民生委員の協力により相談所を開設しました。

開催場所	開催日数			相談件数		
	H23年度	H22年度	前年比	H23年度	H22年度	前年比
総合保健福祉センター	50日	51日	98.0%	13件	11件	118.2%
厚田支所	12日	12日	100.0%	0件	0件	100.0%
浜益支所	12日	12日	100.0%	0件	0件	100.0%

6-2 よろず相談員研修会の開催

よりよい相談所運営と相談員の資質向上を目指して、民生委員児童委員連合協議会と合同で研修会を開催しました。

- ・ 実施日 平成24年2月20日（月）
- ・ 実施場所 石狩市総合保健福祉センター2階 交流活動室
- ・ 参加者数 68名（民生委員、主任児童委員）
- ・ 主な内容 講演「民生委員に求められる傾聴力～より深い関係を築くための傾聴技法」
講師 北海道総合福祉研究センター 理事長 五十嵐 教行 氏
報告「住民よろず相談所の現状について」

7. 在宅福祉サービス事業

7-1 石狩市重度身体障害者入浴サービス（市受託事業）

市の委託により、在宅で入浴が困難な方に対して居室に浴槽を持ち込む入浴サービスを実施しました。

	H23年度	H22年度	前年比
実施件数	37件	128件	28.9%
登録者数	1名	3名	33.3%

7-2 石狩市訪問サービス（市受託事業）

市の委託により、地域との交流のない独り暮らし高齢者に乳酸菌飲料配達による安否確認を実施しました。

	H23年度	H22年度	前年比
実施件数	8,868件	8,502件	104.3%
登録者数	67名	71名	94.4%
安否確認	19件	30件	63.3%

7-3 石狩市配食サービス（市受託事業）

食の自立支援サービスの一環として、ご自身で調理等の困難な方々に対して毎夕食を配食し、食事の提供と安否確認を目的とするサービスを、石狩市の委託により実施しました。

	地 区	H23年度	H22年度	前年比
実施件数	石 狩	17,769件	19,137件	92.9%
	厚田区	1,225件	1,365件	89.7%
	浜益区	3,903件	3,922件	99.5%
	合 計	22,897件	24,424件	93.7%
登録者数	石 狩	147名	139名	105.8%
	厚田区	9名	10名	90.0%
	浜益区	34名	34名	100.0%
	合 計	190名	183名	103.8%
安否確認	合 計	14件	17件	82.4%

7-4 石狩市寝たきり高齢者等寝具洗濯乾燥消毒サービス（市受託事業）

市の委託により、寝たきり高齢者等に対して清潔な寝具で過ごせるよう、寝具洗濯乾燥消毒サービスを実施しました。

	H23 年度	H22 年度	前年比
実施件数	13 件	14 件	92.9%

7-5 石狩市寝たきり高齢者等理容サービス事業（市受託事業）

市の委託により、寝たきり等で理美容店に来店が困難な方に対し、理美容サービスを実施しました。

	区 分	H23 年度	H22 年度	前年比
実施件数	理 容	17 件	13 件	130.8%
	美 容	0 件	2 件	0.0%
	合 計	17 件	15 件	113.3%

7-6 福祉機器等貸与事業（社協事業）

簡単な手続きで利用できる福祉機器貸与事業を実施しました。

貸出物品名	貸 出 件 数			貸 出 数 量		
	H23 年度	H22 年度	前年比	H23 年度	H22 年度	前年比
車 椅 子	86 件	71 件	121.1%	218 台	168 台	129.8%
疑似体験セット	4 件	6 件	66.6%	15 台	20 台	75.0%
行事用テント	7 件	8 件	87.5%	54 張	39 張	138.5%
アイマスク	2 件	1 件	200.0%	86 枚	5 枚	1720.0%

7-7 福祉車両の貸与事業（社協事業）

施設に入所されている方の外泊や在宅で生活されている方の通院等、一般車両では乗車が難しいご家族の一時的な送迎のために、福祉車両の貸与を実施しました。

貸 出 車 両 名	貸 出 件 数		
	H23 年度	H22 年度	前年比
ダイハツムーヴ	32 件	31 件	103.2%
ホンダステップワゴン(厚田)	63 件	56 件	112.5%

8. 石狩市総合保健福祉センター管理運営事業

8-1 石狩市総合保健福祉センター管理運営

石狩市総合保健福祉センターの指定管理者(平成 21 年から平成 24 年)として、ふれあいロビーの有効活用等、楽しく利用できる施設運営に努めました。

- ・ 主な展示 障がい者週間記念作品展・市内保育園児作品展・消費者の日パネル展
- ・ 主な催し 大正琴演奏会・障がい団体連絡会議もちつき大会・石狩サーモン号出発式

8-2 会議室等の貸出

公共機関のほか、福祉団体や企業等に会議室の貸出を実施しました。

また、市内福祉団体や地区社協等の活動場所として、無料で利用できる福祉団体活動室及び地域福祉活動室Aを開放し、福祉活動や地域活動の向上に努めました。

[石狩市総合保健福祉センター会議室等の利用状況]

会議室等名称	利 用 件 数			利 用 人 数		
	H23 年度	H22 年度	前年比	H23 年度	H22 年度	前年比
交流活動室	503 件	425 件	118.4%	21,102 名	16,735 名	126.1%
調理実習室	76 件	72 件	105.6%	1,088 名	1,275 名	85.3%
301 会議室	224 件	232 件	96.6%	2,530 名	2,951 名	85.7%
302 会議室	183 件	190 件	96.3%	2,084 名	2,459 名	84.7%
303 会議室	211 件	217 件	97.2%	1,764 名	1,907 名	92.5%
304 会議室	330 件	356 件	92.7%	2,582 名	2,777 名	93.0%
視聴覚室	350 件	354 件	98.9%	8,035 名	8,699 名	92.4%
地域活動室A	155 件	237 件	65.4%	1,254 名	1,406 名	89.2%
福祉団体活動室	291 件	303 件	96.0%	3,532 名	3,114 名	113.4%
ふれあいロビー	54 件	89 件	60.7%	2,981 名	1,801 名	165.5%
1階相談室	50 件	50 件	100.0%	100 名	100 名	100.0%
3階録音室	30 件	34 件	88.2%	191 名	177 名	107.9%
合 計	2,457 件	2,559 件	96.0%	47,243 名	43,401 名	108.9%

8-3 ふれあい喫茶の開設

市民の憩いの場となることを目的にボランティア連絡協議会の協力を得て開設し、市民の利用者から好評をいただきました。

9. 花川北老人憩の家事業

9-1 石狩市花川北憩の家管理運営

60歳以上の石狩市民がいつでも気軽に利用できる施設としての機能を果たすため、石狩市高齢者生きがい福祉施設「花川北憩の家」の管理運営を実施しました。

[石狩市花川北憩の家利用状況]

	H23 年度	H22 年度	前年比
年間開設日数	297 日	294 日	101.0%
年間延べ利用者数	23,695 名	23,083 名	102.7%
1日平均利用者数	79.8 名	78.5 名	101.7%

9-2 高齢者生きがいづくり対策事業（石狩市受託）

高齢者の健康づくりや新たな趣味づくりを目的に、陶芸教室並びに石狩市寿ふれあい農園を実施しました。

[陶芸教室実施状況]

	H23 年度	H22 年度	前年比
年間教室開催数	244 回	228 回	107.0%
年間延利用者数	2,774 名	2,674 名	103.7%
年度末登録者数	90 名	82 名	109.7%

[寿ふれあい農園実施状況]

	申 込 者 数			利 用 者 数		
	H23 年度	H22 年度	前年比	H23 年度	H22 年度	前年比
花畔農園利用者数	74 名	62 名	119.4%	61 名	61 名	100.0%
樽川農園利用者数	82 名	62 名	132.2%	60 名	63 名	95.2%
合 計	156 名	124 名	125.8%	121 名	124 名	97.6%

10. 特別養護老人ホーム事業

10-1 石狩市特別養護老人ホーム「はまます あいどまり」（短期入所生活介護）事業実施内容

(1) 介護部門

集団ケアから個別ケアへの移行により、サービスの質の向上と利用者の自己決定を尊重出来るような生活支援を行いました。

- ・ 利用者の主体性を尊重し、尊敬の気持ちを持ち、言葉づかいへの配慮に十分に努めました。
- ・ 利用者の安全に心がけ、安心して生活できる環境づくりに努めました。

(2) 相談（介護支援相談員）部門

利用者・家族・地域関係機関との連携を密にし、個々のニーズに対応できるケアプラン作成に心がけ、より高い専門性を持って適切なサービスの提供を実施しました。

- ・ 機能訓練及びレクリエーションの実施につとめました。
- ・ 重要事項説明と利用契約により利用者及び家族の不安解消に努めました。

(3) 看護部門

他職種との連携を深めながら利用者の生活空間の中で、個々の健康状態を把握し疾病予防を行いました。

- ・ 施設内の感染予防対策に努めました。
- ・ 緊急時等に対応できる体制の確保に努めました。
- ・ 個々の身体状況を把握し、疾病の予防と早期発見に努めました。

(4) 栄養部門

家庭的な雰囲気の中で個々の嗜好に配慮し、食べることの喜びや楽しさを味わってもらえるような食事の提供を実施しました。

- ・ 家庭的な環境や食事提供方法の検討を行いました。
- ・ 行事食等季節感のある特別食の提供に努めました。
- ・ 利用者参加のおやつ作りを実施しました。
- ・ 食堂及び厨房の衛生的な環境整備に努めました。
- ・ 食事検討委員会を毎月開催しました。

(5) 短期入所生活介護（ショートステイ）支援

地域の高齢者やその家族が安心して生活できるよう、関係機関と連携し、ニーズに応じたサービスの提供に努めました。

- ・ 地域包括支援センター等関係機関との連絡体制の充実に努めました。
- ・ 利用者の在宅での生活、疾病等の把握に努めました。
- ・ 安全な生活援助及び送迎体制の充実に努めました。

[日常動作訓練・レクリエーションの実施状況]

内 容	実施回数	場 所	参加者数
花見	1回	戸田墓苑 他	20名
生きがい作り学園（運動会）	1回	はまますきらり	9名
生きがい作り学園（卒業式）	1回	はまますきらり	9名
子どもの日行事	1回	食堂・居室	23名
プランター植樹	1回	ふくしの里広場	12名
バイキング昼食会	1回	多目的ホール	23名
カラオケ愛好会コンサート	1回	多目的ホール	11名
さくらんぼ狩り	3回	善盛園	15名
ふくしの里 夏祭り	1回	ふくしの里広場	23名
七夕	1回	食堂・居室	23名
踊り山ボランティア（踊り）	1回	ふくしの里広場	23名
野外ジンギスカン	1回	ふくしの里広場	23名
ふくしの里 長寿を祝う会	1回	多目的ホール	23名
十五夜	1回	食堂・居室	23名
寿司バイキング	1回	多目的ホール	23名
タラ鍋昼食会	2回	多目的ホール	46名
クリスマス会	1回	多目的ホール	23名
元旦	1回	食堂・居室	19名
節分豆まき	1回	食堂・居室	23名
ひな祭り	1回	食堂・居室	23名
買物・ドライブ	随時	区内 他	
レクリエーション	随時	食堂・多目的ホール	
体 操	随時	食堂・多目的ホール	
映画鑑賞会	月2回	多目的ホール	
誕生会	随時	食堂	
おやつ作り	月2回	食堂	

[職員の各種研修会への参加状況]

研 修 等 名 称	参加者数	研 修 等 名 称	参加者数
栄養改善事業推進研修会	1名	経鼻経管栄養・痰吸引指導者研修	1名
北海道高齢者研究会	1名	浜ケアネット学習交流会	10名
虐待防止ネットワーク会議	3名	救命救急講習	19名
住民参加型地域包括ケア推進会議	3名	管理栄養士・栄養士のためのセミナー	1名
救急医療教室	3名	石狩市地域ケア会議	2名

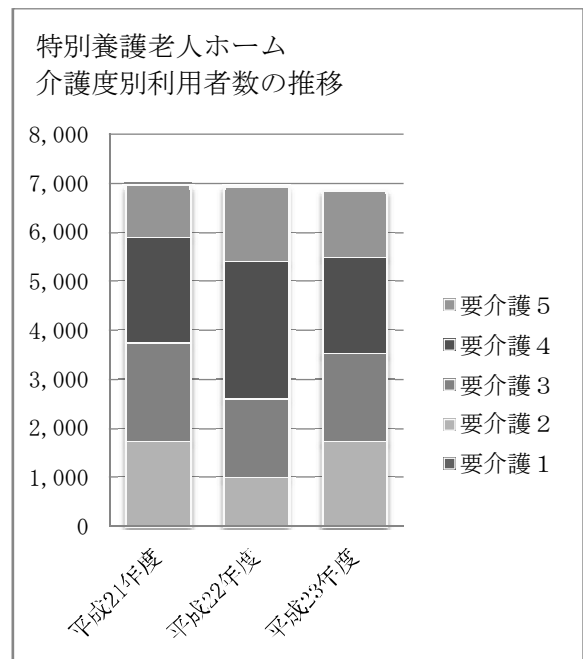
研修等名称	参加者数	研修等名称	参加者数
健康づくり食支援のためのスキルアップ研修会	2名	カントリーミーティング	1名
認知症介護実践者研修	2名	ケアグレードアップセミナー	1名
経鼻経管栄養・痰吸引施行研修	1名		

[特別養護老人ホーム介護度別延利用者割合]

介護度	H23年度	H22年度	H21年度
要介護1	0.4%	0.0%	0.0%
要介護2	24.8%	14.2%	24.9%
要介護3	26.1%	23.3%	29.1%
要介護4	29.0%	40.4%	30.8%
要介護5	19.7%	22.1%	15.2%

[特別養護老人ホーム年間延利用者数]

	H23年度	H22年度	H21年度
年間利用者数	6,846名	6,929名	6,951名
開所日数	366日	365日	365日
日平均利用者数	18.70名	18.98名	19.04名
稼働率	93.52%	94.91%	95.21%
平均介護度	3.45	3.70	3.37

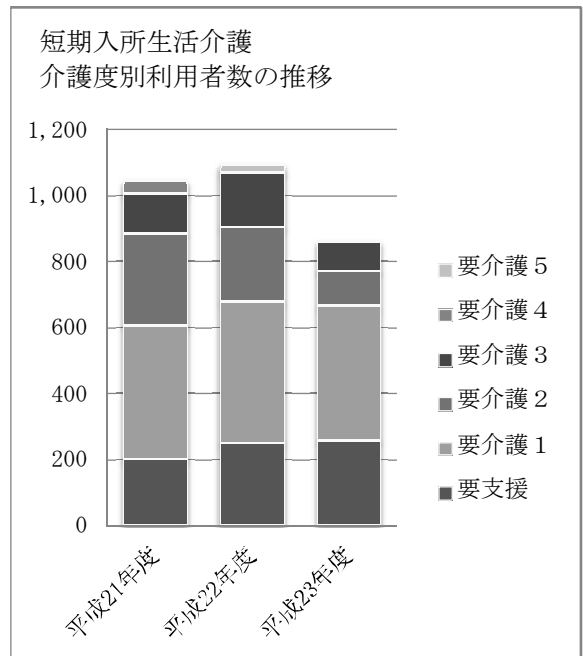


[短期入所介護度別延利用者割合]

介護度	H23年度	H22年度	H21年度
要支援1	7.5%	5.7%	4.8%
要支援2	22.4%	17.1%	14.4%
要介護1	47.2%	39.1%	38.6%
要介護2	12.6%	20.7%	26.9%
要介護3	10.3%	15.2%	11.5%
要介護4	0.0%	0.0%	3.8%
要介護5	0.0%	2.2%	0.0%

[短期入所年間延利用者数]

	H23年度	H22年度	H21年度
年間利用者数	861名	1,095名	1,046名
開所日数	366日	365日	365日
日平均利用者数	2.35名	3.00名	2.87名
稼働率	78.41%	100.0%	95.52%
平均介護度	1.11	1.14	1.56



11. 認知症高齢者グループホーム事業

11-1 石狩市認知症高齢者グループホーム「はまます なごみ」事業実施内容

(1) 快適な環境づくりと生活支援に関すること

- ・ 不安やストレスの少ない環境づくりの実施に努めました。
- ・ 個々にあった日常生活時間への配慮に努めました。
- ・ 職員間の連携（報告・連絡・相談）の徹底を図りました。
- ・ 個々の力を見極めたそれぞれにあった援助の実施に努めました。

(2) 健康・医療の充実に関すること

- ・ 精神状況や身体状況を把握した個別の対応に努めました。
- ・ 他機関との密な連携と協力体制の確立を図りました。
- ・ 健康維持に配慮した食事の提供に努めました。
- ・ 口腔ケアの習慣化を図りました。

(3) 地域社会との連携に関すること

- ・ 地域への声かけ等による啓蒙活動に努めました。
- ・ 地域活動への積極的参加及び地域ボランティアの受入に努めました。

(4) 家族交流に関すること

- ・ 面会時等各行事参加への呼びかけを行いました。
- ・ ケアプランの家族への開示を行いました。
- ・ 電話等による家族との情報交換に努めました。

[日常動作訓練・レクリエーションの実施状況]

内 容	実施回数	場 所	参加者数
映画鑑賞会	1回	多目的ホール	6名
観桜会	1回	戸田記念公園	7名
生きがい作り学園	1回	きらり	6名
バイキング昼食会	1回	多目的ホール	6名
大和山DVD鑑賞会	1回	多目的ホール	6名
さくらんぼ狩り	1回	善盛園	7名
夏祭り	1回	施設前	7名
映画鑑賞会	1回	多目的ホール	6名
踊り山（柏木）	1回	施設前	7名
野外ジンギスカン	1回	施設前	7名
敬老会	1回	多目的ホール	6名
十五夜	1回	なごみ食堂	7名
映画鑑賞会	2回	多目的ホール	12名
寿司バイキング	1回	多目的ホール	7名
タラ鍋	1回	多目的ホール	6名
クリスマス会	1回	多目的ホール	7名
元旦	1回	なごみ食堂	7名
節分	1回	なごみホール	7名
ひな祭り	1回	なごみ食堂	7名

内 容	実施回数	場 所	参加者数
カラオケ愛好会	1回	多目的ホール	6名

[職員の各種研修会への参加状況]

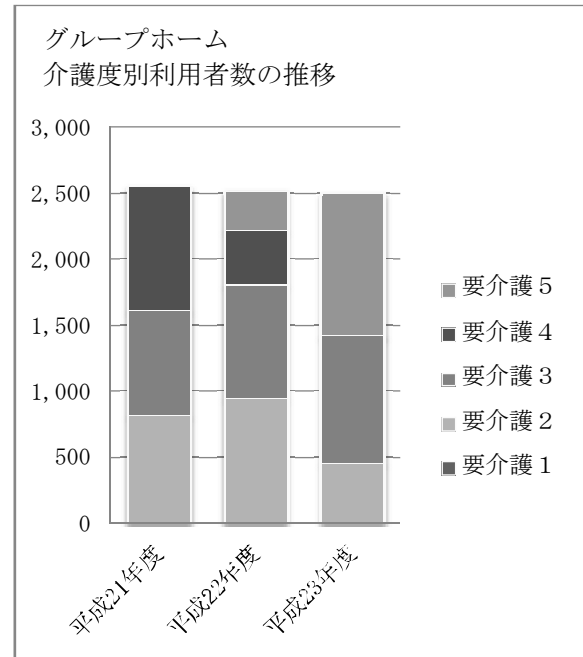
研 修 等 名 称	参加者数	研 修 等 名 称	参加者数
住民参加型地域包括ケア推進会議	2名	救命救急講習	9名
認知症ケアフォーラム	2名	経鼻経管栄養・痰吸引施行研修	1名
浜ケアネット学習交流会	6名	介護報酬説明会	1名

[グループホーム介護度別延利用者割合]

介 護 度	H23 年度	H22 年度	H21 年度
要介護1	0.0%	0.0%	0.0%
要介護2	18.1%	37.6%	32.1%
要介護3	38.6%	34.1%	31.0%
要介護4	0.0%	16.5%	36.9%
要介護5	43.4%	11.8%	0.0%

[グループホーム年間延利用者数]

	H23 年度	H22 年度	H21 年度
年間利用者数	2,504名	2,519名	2,540名
開所日数	366日	365日	365日
日平均利用者数	6.84名	6.90名	6.96名
稼働率	97.74%	98.59%	99.41%
平均介護度	3.69	3.03	3.05



12. 老人デイサービス事業

12-1 石狩市花川北老人デイサービスセンター事業実施内容

(1) 送迎サービスの実施

安心して利用していただくために、身体状況に応じた車両を利用し、介護職員が同乗のうえ、玄関から玄関までの送迎サービスの提供に努めました。

(2) 健康チェックの実施

利用者の健康状態を把握するために、通所の際にバイタルチェックを行い、一日が楽しく過ごせるよう健康状況の把握に努めました。

(3) 入浴サービスの実施

時間にゆとりを持ち、一般浴槽での入浴が困難な方には特殊浴槽で対応する等、安全面を配慮した入浴サービスの提供に努めました。

(4) 給食サービスの実施

利用者の身体状況、嗜好に配慮し、季節感のある食事や鍋の日、バイキング食、屋外焼肉等の行事食を提供する等楽しい食事の提供に努めました。

またおやつも利用者が全員で食べることで、利用者間でのコミュニケーションの良好化を図りました。

(5) 養護

利用者が、日中くつろいで過ごすことが出来るように、排泄介助、爪きり、髭剃り等必要なケアを行いました。

(6) 日常動作訓練・レクリエーションの実施

遊びながら自然に体を動かすことが出来るレクリエーションや工作活動等を通じた訓練を行いました。また、季節に合わせての野外でのレクリエーションも実施しました。

(7) 感染症予防・対策の実施

インフルエンザ等感染症の流行に伴い、これまで以上に、職員の感染症に関するリスク並びに予防意識の徹底を図りました。

[日常動作訓練・レクリエーションの実施状況]

内 容	実施回数	場 所	参加者数
花見ドライブ	5回	農試公園・手稲稲積公園	64名
ソフトクリームツアー	5回	山中牧場(番屋の湯前)	69名
買物ツアー	5回	イトーヨーカドー屯田店	62名
紅葉ドライブ	5回	石狩灯台・展望台	51名
遊びリレーション事業(南デイ合同)	1回	花川南デイサービスセンター	28名
家族交流会(南デイ合同)	1回	札幌ビール園・ガトーキングダム	24名
南北合同運動会(南デイ合同)	5回	りんくる交流活動室	136名

[職員の各種研修会への参加状況]

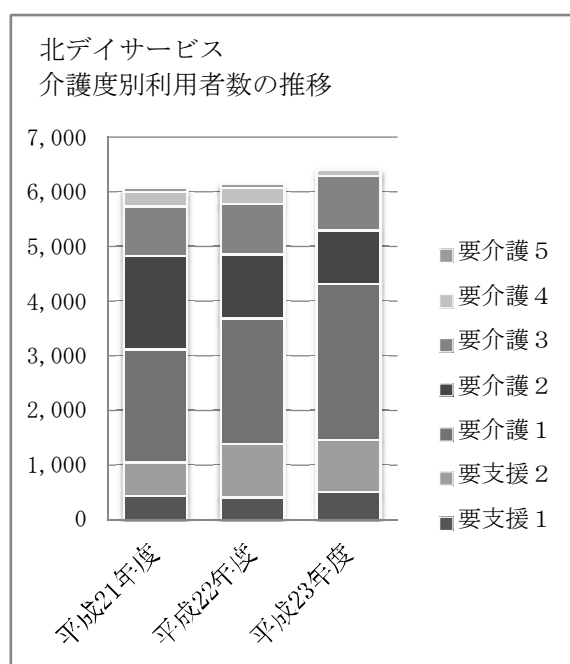
研 修 等 名 称	参加者数	研 修 等 名 称	参加者数
施設内研修(内部研修)	12回	北海道デイサービスセンター研究協議会	1名
新任介護職員研修	1名	認知症介護実践者研修	1名
北海道デイサービスセンター施設長研修	1名	感染症予防研修会	1名

[北デイサービス介護度別延利用者割合]

介 護 度	H23年度	H22年度	H21年度
要支援1	6.6%	7.8%	7.0%
要支援2	15.7%	14.7%	10.3%
要介護1	37.5%	44.9%	34.1%
要介護2	19.1%	15.1%	28.0%
要介護3	15.2%	15.6%	15.1%
要介護4	4.8%	1.9%	4.5%
要介護5	1.1%	0.0%	1.0%

[北デイサービス年間延利用者数]

	H23年度	H22年度	H21年度
延登録者数	1,094名	1,072名	1,023名
年間利用者数	6,417名	6,148名	6,062名
開所日数	240日	242日	242日
日平均利用者数	26.74名	25.40名	25.05名
稼働率	76.39%	72.59%	71.57%



12-2 石狩市花川南老人デイサービスセンター事業実施内容

(1) 送迎サービスの実施

安心して利用していただくために、身体状況に応じた車両を利用し、介護職員が同乗のうえ、玄関から玄関までの送迎サービスの提供に努めました。

(2) 健康チェックの実施

利用者の健康状態を把握するために、通所の際にバイタルチェックを行い、一日が楽しく過ごせるよう健康状況の把握に努めました。

(3) 入浴サービスの実施

時間にゆとりを持ち、一般浴槽での入浴が困難な方には特殊浴槽で対応する等、安全面を配慮した入浴サービスの提供に努めました。

(4) 給食サービスの実施

利用者の身体状況、嗜好に配慮し、季節感のある食事や鍋の日、バイキング食、屋外焼肉等の行事食を提供する等楽しい食事の提供に努めました。

またおやつも利用者が全員で食べることで、利用者間でのコミュニケーションの良好化を図りました。

(5) 養護

利用者が、日中くつろいで過ごすことが出来るように、排泄介助、爪きり、髭剃り等必要なケアを行いました。

(6) 日常動作訓練・レクリエーションの実施

遊びながら自然に体を動かすことが出来るレクリエーションや工作活動等を通じた訓練を行いました。また、季節に合わせての野外でのレクリエーションも実施しました。

(7) 感染症予防・対策の実施

インフルエンザ等感染症の流行に伴い、これまで以上に、職員の感染症に関するリスク並びに予防意識の徹底を図りました。

[日常動作訓練・レクリエーションの実施状況]

内 容	実施回数	場 所	参加者数
花見ドライブ	5回	戸田記念墓地公園	59名
社会見学	5回	石狩美術館	37名
買物ツアー	5回	イトーヨーカドー屯田店	59名
紅葉ドライブ	5回	朝里ダム	46名
家族介護者交流会	5回	花川南デイサービスセンター	131名
遊びリレーション事業(北デイ合同)	1回	花川南デイサービスセンター	22名
家族交流会(北デイ合同)	1回	札幌ビール園・ガトーキングダム	14名
南北合同運動会(北デイ合同)	5回	りんくる交流活動室	112名

[職員の各種研修会への参加状況]

研 修 等 名 称	参加者数	研 修 等 名 称	参加者数
施設内研修(内部研修)	12回	感染症予防対策研究大会	1名
新任介護職員研修	1名	通所ケアマネジメント研修	2名
北海道デイサービスセンター施設長研修	1名	施設長研修A	1名
認知症介護実践者研修	1名	北海道サービス管理講習会	1名
認知症ケア研修	1名	施設相談員専門研修	1名

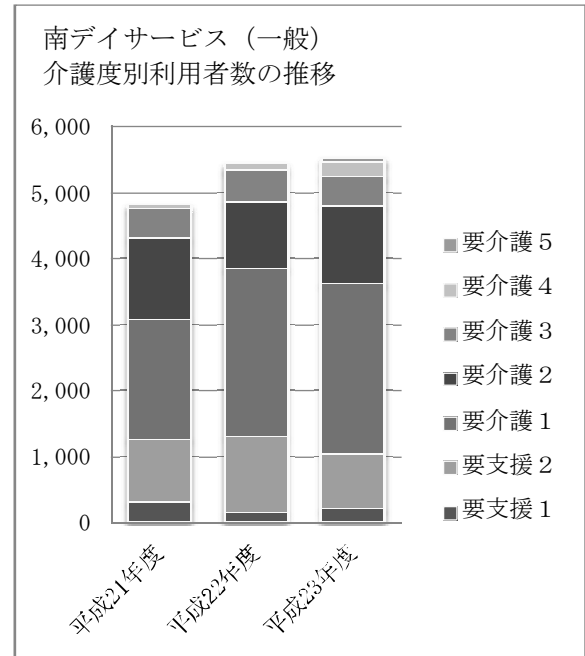
研修等名称	参加者数	研修等名称	参加者数
安全運転管理者講習会	1名	介護報酬改定に伴う事業者説明会	1名
新任施設相談員研修	1名	企業から学ぶ就労支援研修	1名
北海道デイサービスセンター研究協議会	1名	感染症予防研修会	1名
全道老人福祉施設研究大会	1名		

[南デイサービス(一般)介護度別延利用者割合]

介護度	H23年度	H22年度	H21年度
要支援1	3.8%	2.9%	6.4%
要支援2	15.1%	21.0%	20.0%
要介護1	46.8%	46.9%	37.7%
要介護2	21.4%	18.5%	25.4%
要介護3	7.8%	8.6%	9.2%
要介護4	4.0%	2.1%	1.3%
要介護5	1.1%	0.0%	0.0%

[南デイサービス(一般)年間延利用者数]

	H23年度	H22年度	H21年度
延登録者数	904名	908名	896名
年間利用者数	5,526名	5,548名	4,822名
開所日数	244日	242日	242日
日平均利用者数	22.65名	22.93名	19.93名
稼働率	75.49%	76.42%	66.42%

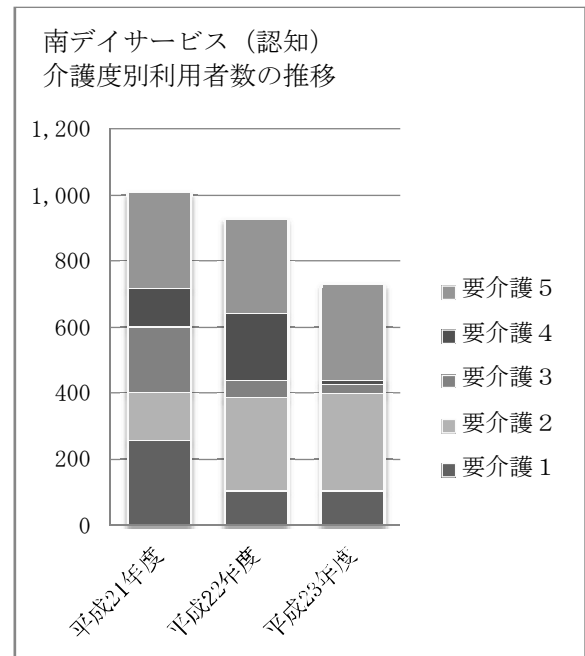


[南デイサービス(認知)介護度別延利用者割合]

介護度	H23年度	H22年度	H21年度
要介護1	14.2%	11.1%	25.4%
要介護2	40.2%	30.4%	14.5%
要介護3	3.7%	6.0%	19.6%
要介護4	1.8%	21.8%	11.7%
要介護5	40.2%	30.6%	28.8%

[南デイサービス(認知)年間延利用者数]

	H23年度	H22年度	H21年度
延登録者数	93名	106名	116名
年間利用者数	732名	927名	1,008名
開所日数	244日	242日	242日
日平均利用者数	3.00名	3.83名	4.17名
稼働率	20.00%	25.54%	27.77%



12-3 はまますデイサービスセンター事業実施内容

(1) 送迎サービスの実施

安心して利用していただくために、身体の状態に応じた車両を利用し、介護職員が同乗のうえ、玄関から玄関までの送迎サービスの提供に努めました。

(2) 健康チェックの実施

利用者の健康状態を把握するために、通所の際にバイタルチェックを行い、一日が楽しく過ごせるよう健康状況の把握に努めました。

(3) 入浴サービスの実施

時間にゆとりを持ち、安全面を配慮した入浴サービスの提供に努めました。

(4) 給食サービスの実施

利用者の身体状況や嗜好に配慮し、楽しい食事の提供に努めました。

またおやつも利用者が全員で食べることで、利用者間でのコミュニケーションの良好化を図りました。

(5) 養護

利用者が、日中くつろいで過ごすことが出来るように、排泄介助、爪きり、髭剃り等必要なケアを行いました。

(6) 日常動作訓練・レクリエーションの実施

遊びながら自然に体を動かすことが出来るレクリエーションや工作活動等を通じた訓練を行いました。また、季節に合わせての野外でのレクリエーションも実施しました。

(7) 感染症予防・対策の実施

インフルエンザ等感染症の流行に伴い、これまで以上に、職員の感染症に関するリスク並びに予防意識の徹底を図りました。

[日常動作訓練・レクリエーションの実施状況]

内 容	実施回数	場 所	参加者数
花見ドライブ	3回	浜益温泉公園	46名
さくらんぼ狩り	4回	善盛園	40名
敬老祝賀会	2回	はまますデイサービスセンター内	50名
千本ならツアー	3回	千本なら	21名
生きがい作り学園（卒業式）	1回	はまますきらり	13名
クリスマス会	4回	はまますデイサービスセンター内	55名
節分	1回	はまますデイサービスセンター内	10名
ひな祭り	5回	はまますデイサービスセンター内	67名

[職員の各種研修会への参加状況]

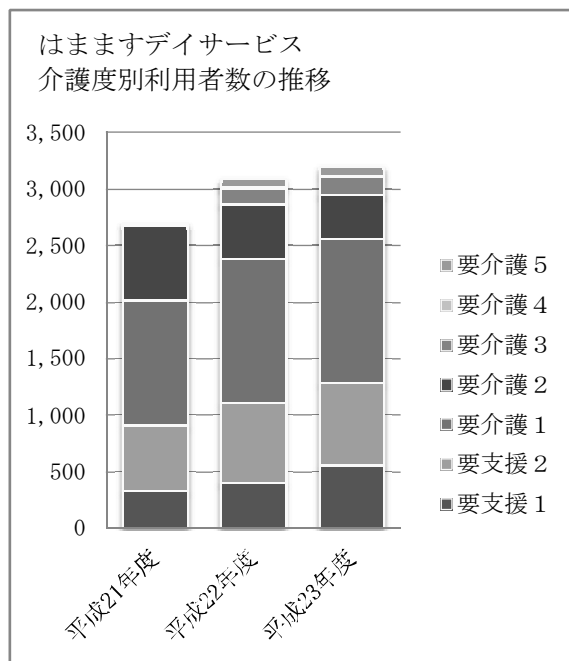
研 修 等 名 称	参加者数	研 修 等 名 称	参加者数
施設内研修（内部研修）	12回	認知症介護実践研修	1名
通所系介護職員研修	1名	救急医療教室	4名
リスクマネジメント研修	1名	浜ケアネット学習交流会	4名
対人援助レベルアップ研修	1名		

[はまますデイサービス介護度別延利用者割合]

介護度	H23年度	H22年度	H21年度
要支援1	17.1%	12.9%	11.9%
要支援2	22.8%	22.7%	21.4%
要介護1	39.9%	41.3%	41.5%
要介護2	12.4%	15.9%	24.6%
要介護3	5.3%	4.6%	0.2%
要介護4	0.0%	0.4%	0.3%
要介護5	2.5%	2.2%	0.0%

[はまますデイサービス年間延利用者数]

	H23年度	H22年度	H21年度
延登録者数	768名	636名	531名
年間利用者数	3,196名	3,085名	2,694名
開所日数	244日	242日	242日
日平均利用者数	13.10名	12.75名	11.13名
稼働率	87.32%	85.00%	74.21%



13. 訪問介護事業

13-1 訪問介護事業所はまます事業実施内容

(1) 生活援助

調理、衣類の洗濯、掃除、生活必需品の買い物、預金の引き出しや預け入れ、公共料金などの支払など、利用者のニーズと身体状況に応じてサービスを行いました。

(2) 身体介助の実施

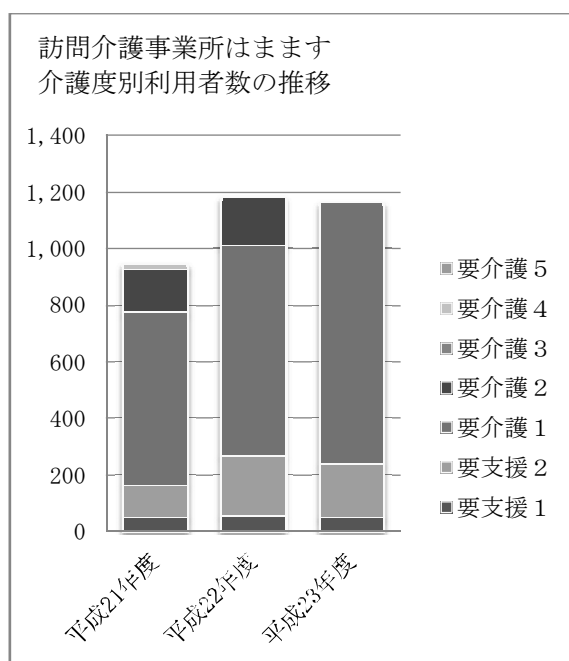
移動介助(外出散歩介助、定期通院介助を含む)、体位変換、入浴、身体清拭、衣類の脱着、排泄介助、食事介助など利用者のニーズと身体状況に応じてサービスを行いました。

[訪問介護事業所はまます介護度別延利用者割合]

介護度	H23年度	H22年度	H21年度
要支援1	4.2%	4.7%	5.3%
要支援2	16.3%	17.8%	11.9%
要介護1	79.5%	62.9%	64.7%
要介護2	0.0%	14.6%	16.1%
要介護3	0.0%	0.0%	0.0%
要介護4	0.0%	0.0%	2.0%
要介護5	0.0%	0.0%	0.0%

[訪問介護事業所はまます年間延利用者数]

	H23年度	H22年度	H21年度
延登録者数	228名	213名	173名
年間利用者数	1,162名	916名	1,039名
開所日数	244日	242日	242日
日平均利用者数	4.76名	3.79名	4.29名



14. 居宅介護支援事業

14-1 ケアプランセンター社協いしかり事業実施内容

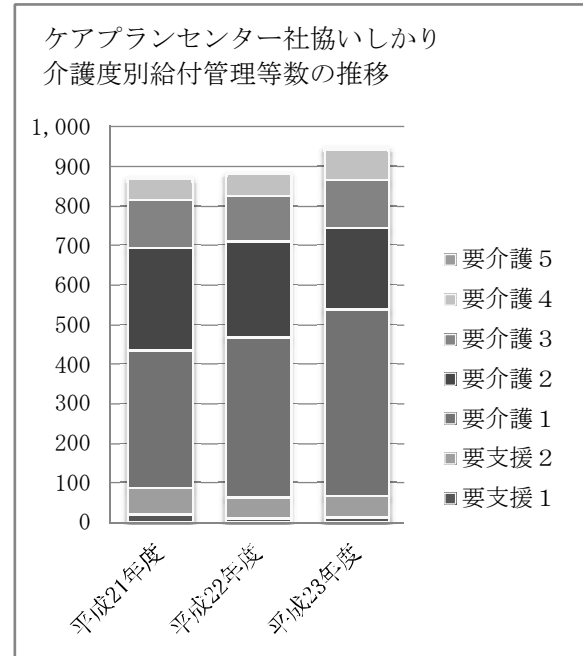
介護保険法を順守し、利用者の自立支援に向けたサービス調整を行い利用者本位のケアプラン作成に努めました。

[介護度別延給付管理等数割合]

介護度	H23年度	H22年度	H21年度
要支援1	1.3%	0.9%	1.9%
要支援2	5.7%	6.2%	8.0%
要介護1	49.8%	46.0%	39.8%
要介護2	21.5%	27.5%	29.7%
要介護3	13.0%	12.9%	13.9%
要介護4	8.2%	6.3%	6.5%
要介護5	0.5%	0.2%	0.2%

[年間延給付管理等数]

	H23年度	H22年度	H21年度
給付管理総数	948名	883名	872名
一人担当数	37.62名	35.04名	34.60名



15. 介護認定訪問調査受託事業

要介護度等決定の重要な要因となる訪問調査を市の委託事業として実施しました。

[介護認定訪問調査実施状況]

区分	H23年度	H22年度	前年比	
石狩市内	1,884件	2,035件	92.6%	
内 訳	特別養護老人ホーム	100件	94件	/
	老人保健施設	43件	63件	
	療養型病床群	19件	27件	
	医療機関	283件	291件	
	在宅	1,439件	1,560件	
他市町村	19件	32件	59.4%	
合計	1,903件	2,067件	92.1%	
一人一日当り件数	1.95名	2.14名	91.1%	

16. 障害福祉サービス事業

16-1 石狩市花川南ふれあいデイサービスセンター事業実施内容

(1) 送迎サービスの実施

安心して利用していただくために、身体の状態に応じた車両を利用し、介護職員が同乗のうえ、玄関から玄関までの送迎サービスの提供に努めました。

(2) 健康チェックの実施

利用者の健康状態を把握するために、来所の際にバイタルチェックを行い、健康状況の

把握に努めました。

(3) 入浴サービスの実施

時間にゆとりを持ち、特殊浴槽により安全面並びに身体的負担に配慮した入浴サービスの提供に努めました。

(4) 給食サービスの実施

利用者の身体状況、嗜好に配慮した食事の提供に努めました。

(5) 個別介護計画作成

利用者本人並びに家族のニーズに応えることができる計画を作成し、計画に基づいたサービスの提供に努めました。

(6) 往診並びに健康診断の実施

健康維持やサービス提供必要な助言を頂く等の医師の往診と健康診断を実施しました。

- ・ 往診 月1回(年12回)実施
- ・ 健康診断 年1回実施

(7) 感染症予防・対策の実施

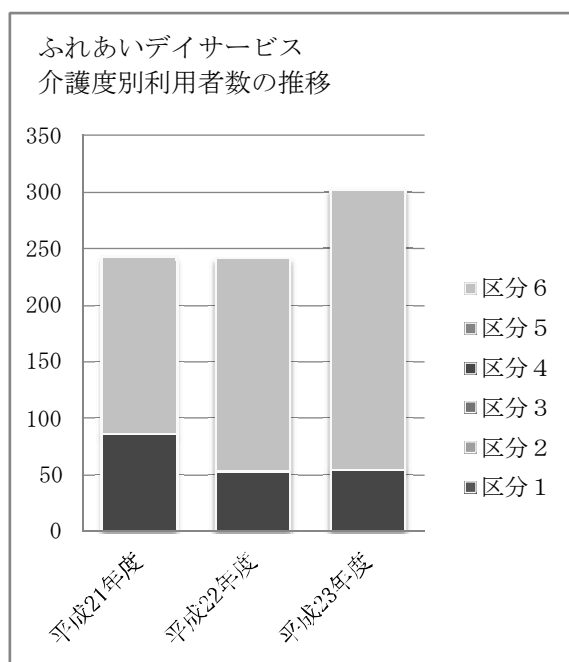
インフルエンザ等感染症の流行に伴い、これまで以上に、職員の感染症に関するリスク並びに予防意識の徹底を図りました。

[日常動作訓練・レクリエーションの実施状況]

内 容	実施回数	場 所	参加者数
花見ドライブ	2回	戸田記念墓地公園	2名
社会見学	1回	石狩美術館	1名
買物ツアー	1回	イトーヨーカドー屯田店	1名
敬老会	5回	花川南デイサービスセンター	8名
紅葉ドライブ	1回	朝里ダム	1名
クリスマス会	3回	花川南デイサービスセンター	5名
新年会	3回	花川南デイサービスセンター	5名
ひな祭り	3回	花川南デイサービスセンター	5名
夏祭り	3回	花川南デイサービスセンター	6名

[ふれあいデイサービス障害程度区分別延利用者割合]

介護度	H23年度	H22年度	H21年度
区分1	0.0%	0.0%	0.0%
区分2	0.0%	0.0%	0.0%
区分3	0.0%	0.0%	0.0%
区分4	17.9%	22.0%	35.4%
区分5	0.0%	0.0%	0.0%
区分6	82.1%	78.0%	64.6%



[ふれあいデイサービス年間延利用者数]

	H23年度	H22年度	H21年度
延登録者数	49名	48名	36名
年間利用者数	302名	243名	263名
開所日数	244日	242日	242日
日平均利用者数	1.24名	1.00名	1.09名
稼働率	6.19%	4.98%	5.43%

17. 居住サービス施設運営事業（介護保険外施設）

17-1 石狩市高齢者生活福祉センター事業実施内容

- (1) 共同生活によるコミュニティの形成を図り、居宅環境において生活することの生きがいを求める施設づくりに努めました。
- (2) 在宅生活において、緊急に保護が必要な方等の受入態勢を確保し地域包括支援センター等と密な情報交換のもと速やかな対応に努めました。

[施設入居者状況]

	H23 年度	H22 年度	前年比
延入居者数	76 名	83 名	91.6%
平均入所者数	6.23 名	6.92 名	90.0%
居室稼働率	79.1%	86.5%	

17-2 石狩市シルバーホーム「はまなか荘」事業実施内容

- (1) 共同生活によるコミュニティの形成を図り、居宅環境において生活することの生きがいを求める施設づくりに努めました。
- (2) 在宅生活において、緊急に保護が必要な方等の受入態勢を確保し地域包括支援センター等と密な情報交換のもと速やかな対応に努めました。
- (3) 住みなれた地域を感じることができるよう、地元食材を使用した温かな食事の提供に努めました。

[施設入居者状況]

	H23 年度	H22 年度	前年比
延入居者数	67 名	61 名	109.8%
平均入所者数	5.58 名	5.08 名	109.8%
居室稼働率	67.8%	63.5%	

18. 資金貸付事業

18-1 貸付希望者への相談援助

貸付相談に対し、世帯更生につながる相談援助を行いました。

また、北海道社会福祉協議会の補助金により、昨年度に引き続き専任相談員を配置し、相談者に対しより身近な窓口となるよう努め、多くの相談を受け付けました。

[事業別貸付相談受け付け状況]

相談内容	福祉金庫貸付事業			生活福祉資金貸付事業			事業合計		
	電話	来所	合計	電話	来所	合計	電話	来所	合計
借入申し込み	26 件	76 件	102 件	54 件	91 件	145 件	80 件	167 件	247 件
貸付後連絡調整	17 件	34 件	51 件	42 件	18 件	60 件	59 件	52 件	111 件
関係先連絡調整	52 件	45 件	97 件	69 件	34 件	103 件	121 件	79 件	200 件
合計	95 件	155 件	250 件	165 件	143 件	308 件	260 件	298 件	558 件

18-2 福祉金庫貸付事業

緊急生活資金として上限 50,000 円の福祉金庫の貸付を行いました。

	H23 年度	H22 年度	前年比
相談総件数	250 件	183 件	136.6%
貸付件数	28 件	28 件	100.0%
貸付金額	931,000 円	1,053,000 円	88.4%
1 件平均	33,250 円	37,607 円	88.4%

18-3 生活福祉資金貸付事業

北海道社会福祉協議会の資金である生活福祉資金の貸付を窓口機関として貸付相談並びに連絡調整を行いました。

	H23 年度	H22 年度	前年比
相談総件数	308 件	653 件	47.2%
貸付件数	8 件	4 件	200.0%
貸付金額	1,337,000 円	2,938,271 円	45.5%

18-4 貸付調査委員会の開催

適切な貸付が行われるよう貸付調査委員会を開催しました。

- ・ 開催日 平成 24 年 3 月 16 日（金）
- ・ 場 所 石狩市総合保健福祉センター 2 階 地域福祉活動室 A
- ・ 参加者数 5 名
- ・ 内 容 平成 23 年度各貸付事業実績並びに償還状況について

19. 共同募金推進事業

定款に基づき共同募金事業への協力・事務局支援を行いました。

また、東日本大震災に係る義援金、支援金の受付窓口として募金の周知を行い、北海道共同募金会への送金事務を実施しました。

[石狩市共同募金委員会・各募金状況]

	H23 年度	H22 年度	前年比
理事会・評議員会・説明会	12 回	10 回	120.0%
赤い羽根募金実績	5,347,274 円	5,087,799 円	105.1%
歳末助け合い募金実績	3,319,680 円	3,288,862 円	100.9%
東日本大震災災害義援金実績	4,956,631 円	2,625,372 円	188.8%
災害ボランティアサポート募金	82,510 円	0 円	

20. 日本赤十字社北海道支部石狩市地区支援事業

人道支援団体である日本赤十字社石狩市地区の事務局として、救急法各種講習会の開催やAEDの配備等実施しました。

また、東日本大震災に係る義援金の受付窓口として募金の周知を行い、日本赤十字社北海道支部への送金事務を実施しました。

- ・ 救急法各種講習会 8回開催
- ・ AED新規設置 1台設置（石狩市高齢者生活福祉センター）

[日赤社資等寄付状況]

	H23 年度	H22 年度	前年比
日本赤十字社資実績	3,672,372 円	3,418,850 円	107.4%
東日本大震災災害義援金実績	7,660,510 円	5,441,726 円	140.8%

21. 石狩市浜益保養センター管理運営事業

21-1 石狩市浜益保養センター事業実施内容

(1) 売店コーナーの立上げと扱いアイテムの充実に努めました。

- ・ 玄関ロビーと休憩ロビーに浜益産品を中心としたアイテムを取り揃えた、売店コーナーを設置しました。(年間販売実績 約 325 万円)
- ・ 地元業者の出店により玄関内の無人直売コーナーは屋外直売所の補完的機能を発揮しました。(年間販売実績 約 100 万円)
- ・ 浜益の昆虫クラフトを販売しました。
- ・ 乳類販売許可取得し、町村牧場の牛乳、ヨーグルト、チーズ、アイスクリームなど乳製品取扱開始し売上増進を図りました。

(2) 安全、安心な施設設備への修繕、補修に向け石狩市との協議に努めました。

- ・ 年間設備保守点検業者への現状把握の認識強化に努めました。
- ・ 源泉汲み上げポンプ、サウナバーナー、メインボイラー、露天濾過器等経年劣化による交換時期や故障リスクについて、石狩市地域包括支援センター並びに建築課担当者との施設全体改修計画についての打合せを行いました。

(3) 清潔な入浴環境の維持（清掃、衛生保持の徹底）に努めました。

- ・ 清掃手順の見直し、個人の経験則に頼らない作業平準化に取り組みました。
- ・ 清掃洗剤・殺菌剤・清掃具、客用石鹸、洗髪材の品質、価格等の見直しを行いました。

21-2 おもてなし、ホスピタリティ、サービス面の強化

(1) 顧客指向（職員の意識改革、お客様をもてなす意識）の向上に努めました。

- ・ 職員全員が接遇講師による内部集中研修を行い、おもてなし意識の基本を学びました。

(2) 基本的応接マナーを身につける（市営施設の運営にたずさわっている）

- ・ 浜益支所主催「地域作り研修会」、商工会主催「町興し講演会」、道経済部観光局主催「体験型観光商談会」、市観光協会主催セミナー「ディズニーランドのおもてなしの心」等参加、聴講。館内会議にて報告し、意識の統一を図りました。
- ・ 開館前に毎朝全員での朝礼（3分ミーティング）を継続し実施しました。

(3) 火災時の避難誘導等、災害時避難訓練を実施しました。

(4) 軽食コーナーメニュー見直し（固定化を避け季節感、お客様のニーズ対応）

- ・ 市石狩鮭醤油らーめんプロジェクト参加し、軽食コーナーのトップメニューとなりました。（年間 約 2,000 食販売）
- ・ 季節メニュー「ところてん、鍋焼きうどん、ピザトースト、牛丼、チャーハン、コロッケ」等売上高の向上に努めました。

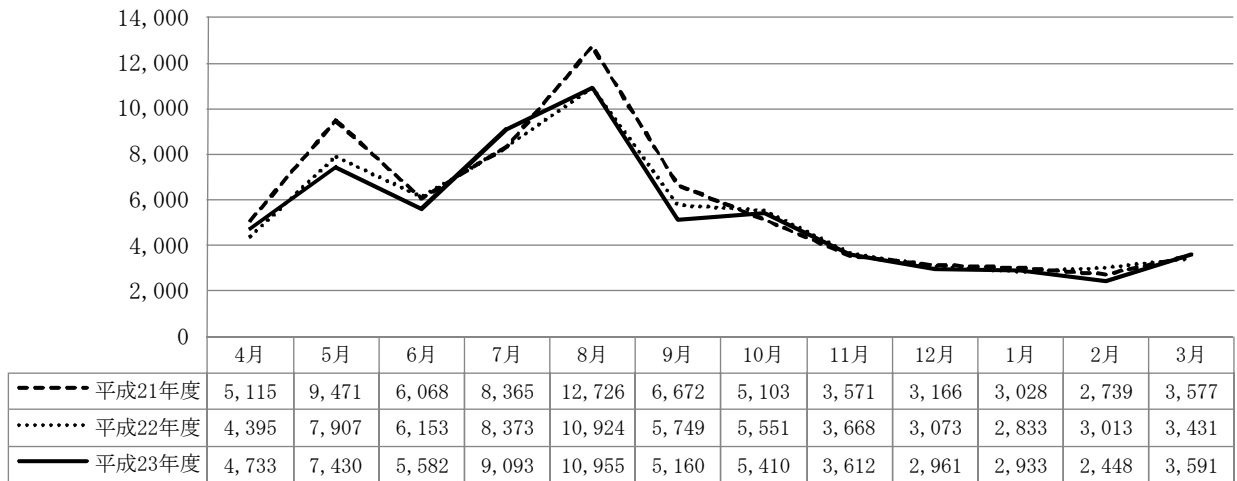
21-3 効果的な営業・企画・広報活動

- (1) 地域客の利用増進を図るため、地域冬季間割引・ポイントカード・民宿利用客優待券発行・短期間パスポート等顧客優待を行いました。
- (2) 地域外からの利用客の取り込みを図るため、トンネル工事関係業者優待制度・ふるさと朝市客優待・果樹園利用客、黄金山登山客、すこやかウォーキング客・海水浴客・鮭釣り客等個別対応等顧客優待を行いました。
- (3) 隣接の地域、行政、施設との広域連携。新たな利用価値の創出を図るため、道民の森・増毛岩尾温泉（共通スタンプ、共通入浴キャンペーン）・当別ふくろう会と連携した顧客優待を行いました。
- (4) 地域の歴史文化の紹介の場、交歓の場としての機能を図るため、浜益創作人形展、六文焼作陶展、民芸交流（絵手紙、かるた会）を企画、実施しました。
- (5) 果樹組合、漁組浜益、産地直売組合とのタイアップし、地場製品の紹介と販売を行いました。
- (6) 空知、後志の日帰り施設に情報交換で営業訪問、観光代理店、バス会社、JR、町会関係訪問等団体客獲得を主体とした営業活動を展開しました。
- (7) 市広報、市社協広報、民間パブリシティ、紹介番組TV・ラジオ、浜益温泉だより等認知度、知名度向上を目指す広報活動を展開しました。
- (8) ウェブ媒体を利用するリアルタイムな情報発信活動を行いました。
- (9) 温泉を応援してくれるボランティアとの共感関係醸成に努めました。

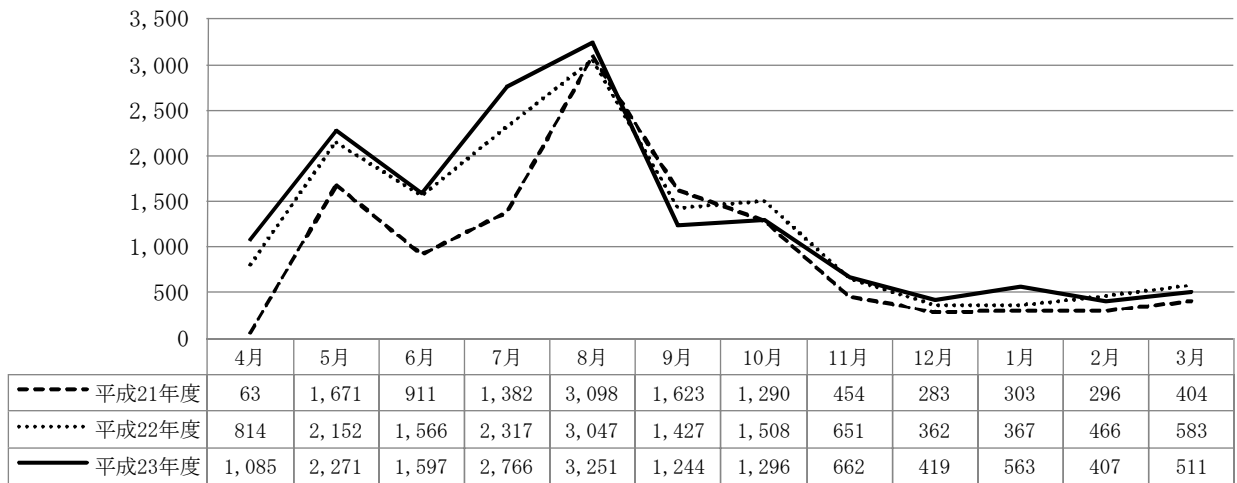
[浜益保養センター利用実績状況]

月	温泉入館者			軽食コーナー販売食数			売店部門売上高		
	H23年度	H22年度	前年比	H23年度	H22年度	前年比	H23年度	H22年度	前年比
4	4,733人	4,395人	108%	1,085食	814食	133%	200,144円		
5	7,430人	7,907人	94%	2,271食	2,152食	106%	482,718円	301,808円	160%
6	5,582人	6,153人	91%	1,597食	1,566食	102%	386,798円	162,335円	238%
7	9,093人	8,373人	109%	2,766食	2,317食	119%	589,093円	253,164円	233%
8	10,955人	10,924人	100%	3,251食	3,047食	107%	460,830円	205,209円	225%
9	5,160人	5,749人	90%	1,244食	1,427食	87%	234,165円	189,581円	124%
10	5,410人	5,551人	97%	1,296食	1,508食	86%	287,369円	265,038円	108%
11	3,612人	3,668人	98%	662食	651食	102%	145,930円	105,313円	139%
12	2,961人	3,073人	96%	419食	362食	116%	79,870円	69,995円	114%
1	2,933人	2,833人	104%	563食	367食	153%	91,995円	58,470円	157%
2	2,448人	3,013人	81%	407食	466食	87%	93,430円	66,600円	140%
3	3,591人	3,431人	105%	511食	583食	88%	173,447円	82,750円	210%
計	63,908人	65,070人	98%	16,072食	15,260食	105%	3,225,789円	1,760,263円	183%

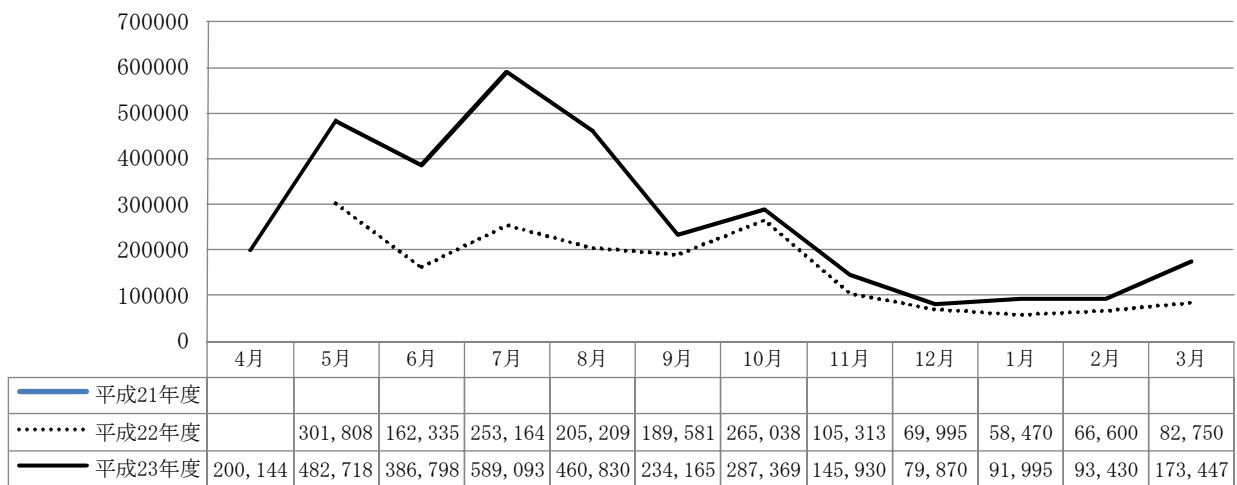
温泉入館者推移（人）



軽食コーナー販売食数推移（食）



売店コーナー売上高推移（円）



22. 関係団体事務局運営

22-1 石狩市民生委員児童委員連合協議会との連携・事務局運営

地域福祉の最前線にあり、共に地域福祉を推進する組織である市民生委員児童委員連合協議会と連携に努めました。また連合会の事務局を担うことで、より円滑に独居高齢者等の安否の確認並びに貸付事業を進めることができました。

- (1) たすけあいマップ制作事業への協力
- (2) 連合協議会事務局担当会務運営協力
 - ・ 総会、役員会等回数 16回
 - ・ 主催事業等実施回数 1回

22-2 福祉団体・当事者団体との連携・事務局運営

福祉団体・当事者団体として位置づけられる各団体の事務局を担いました。同時に地域福祉推進、福祉のまちづくりをめざし本会との連携に努めました。

- (1) 石狩市高齢者クラブ連合会事務局
 - ・ 総会、役員会、部会等回数 48回
 - ・ 主催事業・行事等実施回数 7回
 - ・ 会員数 2,784名(43クラブ)
- (2) 石狩市身体障害者福祉協会事務局
 - ・ 総会、役員会等回数 14回
 - ・ 主催事業・行事等実施回数 5回
 - ・ 会員数 89名
- (3) 石狩市連合遺族会事務局・各単位遺族会事務局
 - ・ 連合遺族会会議等回数 2回
 - ・ 会員数(単位遺族会計) 87名
 - ・ 石狩市遺族会事務局支援(社協事務局)
 - ・ 厚田遺族会事務局支援(社協厚田支所)
 - ・ 浜益遺族会事務局支援(社協浜益支所)
- (4) 石狩市視覚障がい者協会瞳会事務局
 - ・ 総会、会議等回数 18回
 - ・ 主催事業・行事等実施回数 3回
 - ・ 会員数 20名